

いぶりの森づくり

胆振の概況 2025

● 森林面積は、252千haで総土地面積の68.2%、全道森林面積の4.6%を占めています。また、森林蓄積量は31,386千m³で、全道森林蓄積量の3.6%を占めています。

森林の構成は、人工林が75千ha、天然林が163千haとなっています。また、齢級（5年ごとの森林の年齢、1齢級＝1～5年生）別に人工林の大半を占めるトドマツ・カラマツ類の多くは8齢級以上となっており、成熟期を迎えています。

● 苫小牧港は道内の木材・木製品の輸入拠点となっており、全道の輸入量のうち、丸太の59.9%、製材の99.1%、チップの100%が輸入されています。

そのほか、胆振管内は木質ペレットやきのこの林産物の生産が盛んな地域となっています。

● 道では、令和4年3月に「北海道森林づくり基本計画」を策定し、森林資源の循環利用と木育の一層の推進を施策推進の基本的な方向として、課題解決に向けた7つの「重点的な取組」を設定しました。胆振管内においても、「北海道森林づくり基本計画」に沿って森林づくりを進めています。

◇森林資源の循環利用の推進

①ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり

②広葉樹資源の育成・有効活用

③道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化

④森林づくりを担う「人材」の確保

⑤スマート林業による効率的な施業の推進

⑥HOKKAIDO WOOD ブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

◇木育の推進

⑦木育マイスターや企業などによる木育活動の推進

◎森林面積

(単位: ha)

区分	面積
森林	252,392
国有林	100,580
森林管理局所管	99,100
その他国有林	1,479
民有林	151,812
道有林	32,651
市町村有林	16,211
その他民有林	102,950
その他(森林外)	117,416

(北海道林業統計・令和6年4月1日現在)

◎樹種別森林蓄積量

(単位: 千m³)

針葉樹計 14,796	トドマツ	6,898
	エゾマツ	900
	カラマツ類	5,517
	アカエゾマツ	800
	スギ	37
	その他	645
広葉樹計 16,590	ナラ類	2,734
	カンバ類	3,262
	シナノキ	1,694
	カエデ	2,065
	その他	6,835
合計	31,386	

(北海道林業統計・令和6年4月1日現在)

◎保安林指定面積

(単位: ha)

区分	面積
水源かん養保安林	127,684
土砂流出防備保安林	21,182
土砂崩壊防備保安林	618
その他保安林	1,671
合計	151,155

(北海道林業統計・令和6年4月1日現在)

◎木材・木製品輸入量

区分	丸太	製材	チップ
苫小牧港(A)	21.1千m ³	117.5千m ³	522.2千トン
全道(B)	35.2千m ³	118.6千m ³	522.2千トン
A/B(%)	59.9	99.1	100.0

(北海道林業統計)

◎木材関連生産量

区分	製材	チップ	素材
胆振管内(A)	45千m ³	113千m ³	279千m ³
全道(B)	632千m ³	1,120千m ³	4,948千m ³
A/B(%)	7.1	10.1	5.6

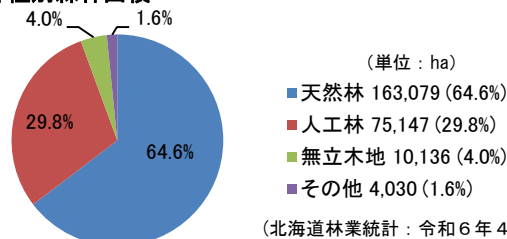
(北海道林業統計及び林務課資料)

◎林産物生産量

区分	木質ペレット	きのこ
胆振管内(A)	2,751トン	6,017トン
全道(B)	16,074トン	14,837トン
A/B(%)	17.1	40.6

(北海道特用林産統計及び林務課資料)

◎林種別森林面積



◎人工林(トドマツ・カラマツ類) 齢級別資源構成(一般民有林)

(単位: ha)

